



徳山大学広報

# 学園台の風

平成 22 年 12 月 1 日 発行

第 64 号

何かに“いちばん”の自分がある

## 学生生活のいま

大戸雅博 君 (経済2年・広島県出身)

ビジネス戦略学科知財開発コースで学んでいます。

その中でも、映像に興味があり、今年の春から始まった長澤先生の講義はとても魅力的です。これからも貪欲に学んでいきたいと思っています。



発行 徳山大学

編集 中村道陽

山口県周南市学園台

TEL 0834-28-0411 (代)

## 「弘兼憲史・徳山大学高校生マンガコンテスト」授賞式開催される

11月7日第7回弘兼憲史・徳山大学高校生マンガコンテストの授賞式が、徳山大学本館6階大会議室で行われました。今年度は関東から九州までこれまで最多の69作品がエントリー、このうち8作品が入賞しました。授賞式では、賞状と副賞のほか、特別記念として弘兼先生・なかはら先生直筆の色紙が渡されました。来年は、さらに多くの作品がお寄せいただければと思います。



### 入賞作品紹介 講評なかはらかせ

優秀作品賞 田中 舞

「トモダチ」(福岡県立大宰府高等学校2年)

◇画力・ストーリーともに高校生としては大変素晴らしいと思います。素直なキャラクターや背景の描き方も読みやすさを助けていると思います。が、それは逆にシンプルすぎてアクセントがないとも言えます。



もっとおおらかにのびのびした描き方にも挑戦してみてください。次はコメディかギャグなんかが良いかもしれません。画

力のある人には守備範囲の広い作家になってほしいと先生は常に指導しています。パターン化されたものしか描けないのではデビューは難しいからです。田中さんは短編をまとめる力もあるので、作り込みされた長編も読んでみたくまりました。ともあれ、主人公と雨の日に拾われた犬との友情と、その犬とやはり拾われた子犬との友情とをうまくオーバーラップさせ、今回のテーマそのものを世界観として落とし込んでいるところも高く評価しました。



弘兼憲史特別賞

石本 梨紗

「二人三脚」(高知県立岡豊高等学校2年)

◇昨年に続いての入賞です。友情という信頼がなければ勝てない二人三脚です。決定的な瞬間を実に迫力のある巧みな構図で見せてくれます。少し広角気味のレンズで撮った写真のようにすることで臨場感を出し、足もとからあおり気味のカメラ目線で迫力を出しています。そしてふたりのキャラクターを前めりと後ろに反らせるという相反する動きとポーズで描くことで、その瞬間を止めて描いたような説得力が出たと思います。

YAB特別奨励賞 岩田 美夕

「彼女の友情」(島根県立安来高等学校3年)



◇素朴な絵柄が好感を持ちます。とかく男子が好む派手な女の子のキャラクターが出てくる作品が多い中で、妙にリ

アリティがあつてよかつたと思います。もう少し画力が上がってきて安定した絵柄になると良いですね。しかしながら、ストーリーの切り口はたいへん素晴らしい、どんどん主人公の立場になって怖くなって、不思議などもだちのペースにはまっていきそうな読者としての自分がいることに気がきます。何かをひとつ違えてしまうと、どんどんその世界に引き込まれていく恐怖がありますね。

なかはらかせ特別賞 清水 彩衣

「Thank you Best my friend」(福岡県・真颯館高等学校3年)



◇人型ロボットが動物型の？ロボットを洗ってやっている微笑ましい場面です。先生はむしろ人間がロボットを洗ってやっている場面としてこのイラストを見てしまい、この近未来的な友情に感激をしました。手塚治虫という漫画家は鉄腕アトムの中で、人間とロボットとの平等を謳っています。この作品からそ



んなことを思い出してしまいました。不思議な世界観とキャラクターが、少しトーンを抑えた着色でうまくまとめられていて暖かさを感じるイラストだと思えます。作者の優しさをかんじました。

入選 坂田 実穂

「やったぜ!!」(山口県立下関南高等学校3年)



◇タイトルどおりの元気を感ずるイラストです。よけいなものを描かずに、表情とポーズに絞り込んだところが良かったと思います。くったくのない(打算のない)純粹な友情はそれだけで感動を与えてくれますね。アニメ塗りも良いですが、いろいろな技法を学んでいくと表現力が増すと思います。

入選 渋谷 翔美

「友情」(大分県立鶴崎工業高等学校3年)



◇独自の世界観を持っている渋谷さんの作品です。心温まる友情が少女マンガのように描かれています。昔の美少女絵師の作品のような懐かしさまで感じてしまうのは先生だけでしょうか。もう少しやわらかい色の塗り方が出来るようになってくると、もっと美しいイラストになると思います。

入選 平 七海

「ある日」(静岡県・日本大学三島高等学校1年)



◇友情のとらえ方としては楽しいアプローチだと思いました。主人公も魅力的だと思えますが、友情というところで仲間の方ユニークな焦点を当てたところが、このマンガを楽しんでいるところだと思います。憎めない奴らの表情もいいですし、主人公を完全にくっっている仲間たちのキャラ設定も個性的でOKです。

入選 原田 沙那恵

「希望の明日へ」(山口県立防府高等学校3年)



◇荒削りだけでも迫力の作品です。なかなか一枚のイラストから強烈なエネルギーを感じる作品は少ないのですが、若さの持っている力というか、青春のなせる技というか、容赦なく見る人へメッセージを送り込んでくる画風や色づかいは素晴らしいと思います。このタイプのイラストは反対に雑に見えたりする場合もあるので、大胆にそして繊細に心をかけてくださいね。

※作品はホームページにアップしています。

**大学祭も終わり・・・** 今年は40回目のポプラ祭(大学祭)でした。学生さんたちは「ポプラス」という造語のテーマを掲げ、これまでより、少しでも違う大学祭にしようと、日夜準備を重ねてきたようでした。これまで40年間本学の大学祭は本祭を2日行ってきました。これだけでも大変なことです。昨年はそれを1日という話も一時出ていましたが、校友会から物心両面に渡る、助力もいただき、これまでどおり2日間の本祭を実施することができました。そういう意味では、今年の学生さんの手による2日の祭りは新たな第1歩と言えるかもしれません。現在はメイン会場を記念館に移し、少しコンパクトな印象になりました。しかしながら、おかげさまで1件の苦情もなく無事終了しました。大学祭を休暇とらえる人、学生時代の思い出に楽しむべきだと思う人、それぞれの1週間が終わりました。大学祭は40年前「出発進行」をテーマにスタートしました。当時、ほうきポプラの木のように、空高く、すくすくと本学が発展していくこととの祈りを込めて、「ポプラ祭」と命名されたと記録が残っています。あれから40年「ポプラス」が示す思いは、いつの時代の学生さんも思い続けてきた普遍的テーマかもしれません。来年も、先輩の思いは引き継がれ、さらにプラスワンの大学祭が開かれていくことでしょう。



## 周南まちづくりコンテスト表彰式行われる

11月6日「周南まちづくりコンテスト2010」の表彰式が本学611教室で行われました。高校生部門、大学・高専部門、一般部門の受賞者6名を含む約60名の参加を得て、表彰と受賞作品のプレゼンテーションが行われ、その後審査員の皆さんによるパネルディスカッションが行われました。  
入賞作品は次の通りです。

### ① 高校生部門

【最優秀賞】野間 彩花さん(徳山工業高等専門学校)

「テーマ」儲かる農業！休耕地を活用して薬用植物を栽培するとともに、子育てをしている主婦や高齢者が集うことができる保育園を開設する。

【優秀賞】該当なし

### ② 大学・高専部門

【最優秀賞】隅田野乃香さん(徳山工業高等専門学校)

「テーマ」ふるさと飯。」で周南cheer!!!周南産の食材を使用した料理を開発・提供。ナスの柿葉茶煮の和定食、漬け物チャーハンの洋定食、ぶどうゼリー付きのおこよま定食を提案。

【優秀賞】高松 亮太さん、宮地 祐基さん(豊橋技術科学大学)

「テーマ」Sustainable Wood Arcade間伐材から生まれる自然との共生社会―間伐材を利用したアーケードを都市地域の商店街に設置。これにより、間伐材の利用促進および都市住民の自然環境への関心向上を図る。

### ③ 一般部門

【最優秀賞】田中 力さん(広島県広島市)

「テーマ」農村地域における移動手段確保と生活物資の配送「人の送迎と物の配送の一元化」の社会実験を行う。郵便事業株が行う郵便集配に住民輸送サービスを加えるとともに、各種バスの一元化を検討する。

【優秀賞】西田 次郎さん(山口県周南市)

「テーマ」おっとり元氣村プラン―じねんじょう山芋を活用した地域振興案―耕作放棄地を活用してじねんじょうを栽培。廃校など遊休施設を活用して加工・販売を行うとともに、栽培・収穫体験などの交流事業を展開。

【優秀賞】石川 成道さん(東京都多摩市)

「テーマ」クラインメーア(小さな漁場の整備―団塊世代を対象に、滞在型漁業従事施設を提供することにより、新たな漁業者の確保を図る。都市地域において物々交換や技術の伝承も行う。



## 大学一体で防災訓練実施される

11月18日教職員学生が参加しての防災訓練が行われました。この日はまず、総務課より「火事です、避難してください」と館内放送がされ、避難場所として学内の野外ステージへ移動しました。野外ステージでは、周南市東消防署の木庭さん(本学35期卒)の指導により、消火器を取り扱い、消火訓練が行われました。最後に、防災団長を務めた池高理事長より、「こういう訓練を通して、いざという時のため、日頃から、防災に対して意識を持つことの大切さを改めて認識できました」と挨拶がありました。



徳山大学入学試験案内  
一般入試Ⅰ期  
1月29日(土)試験  
センター試験利用入試前期  
出願 1月6日~開始

春の  
オープンキャンパス  
3月25日(金)26日(土)  
2days開催!